

Alumni2017

同窓会年報

2017

取扱注意

育英学院同窓会

会長挨拶（新卒業生を迎えて）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。専攻科 15 期生 4 名、本科 50 期生 149 名、計 153 名を新たにお迎えし、同窓会員は延べ 14177 名（中工等重複、特別会員含）に達しました。2015 年はドン・ボスコ生誕 200 周年など周年記念の年でしたが、育英学院は創立 82 年目を迎えます。社会に旅立つ皆さんに「サレジオ精神」を忘れずに「善き社会人」になれとエールをお送りします。



会長 林 紹溢(SO6GB)

同窓会執行役員一同、今後の母校の発展を願うとともに卒業生の皆様に応援し、また、本来の目的である会員相互の交流と親睦を図りつつ、若い方の参加を呼びかけ活性化を図ってまいりたいと思います。伝統ある同窓会は、歴代の会長（現顧問）及び執行役員諸氏のご努力により現在まで活動を続けてまいりました。昨年は特にサレジオ同窓会日本連合の結成により日本のサレジオ同窓生が東アジア・オセアニアを始め世界にそのプレゼンスを示すようになりました。卒業生の皆様には今後一層、同窓会活動の重要性と趣旨をご理解いただき、是非ともご協力をお願い申し上げます。

- 理事会・評議員会・SHCD 幹事会の開催
- 同窓会の運営・会計報告・活動報告・予算案・事業計画の審議及び承認
- 名簿データベースの管理・同窓会年報の発行（新卒業生へ配布）
- 同窓会報の編集発行（高専ニュース併載毎年 10 月発行）発送会員 7132 名
- 在校生との交流会（4 年生へのキャリアデーへの講師支援）
- 同窓生のクラス会、同期会、クラブOBOG会等への支援
- 学生募集活動への協力（同窓生への学生募集資料同封配布）
- 育英サイテック（杉並）の同窓生無償利用
- サレジオ同窓会日本連合設立への参加と会合出席
- 2016 年の同窓会の主な活動
 - ・ 2016 年 1 月 14 日 定期公演・応用技術センター報告会お祝い
 - ・ 2016 年 3 月 15 日 高専 49 期卒業式・謝恩会に執行役員全員出席
 - ・ 2016 年 3 月 22 日 サレジオ同窓会日本連合総会に役員出席
 - ・ 2016 年 5 月 28 日 キャリアデー2016 支援・SHCD2016 理事会・幹事会開催
 - ・ 2016 年 7 月 30 日 臨時執行役員会・海外大会派遣等審議
 - ・ 2016 年 9 月 24 日 15-16 年度理事懇談会開催・SHCD2016 幹事会開催
 - ・ 2016 年 10 月 3-9 日 サレジオ同窓会東アジア・オセアニア大会に会長・副会長派遣
 - ・ 2016 年 10 月 29 日 SHCD2016 開催・120 名超の参加
 - ・ 2017 年 3 月 14 日 高専本科 50 期卒業式・謝恩会に執行役員出席

平成 17 年 9 月 1 日制定

個人情報保護方針（プライバシーポリシー）

育英学院同窓会（以下本会と称す）では、個人情報が重要な資産であることを理解し、個人情報正しく扱うことが、本会の重要な責務であることを認識し、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めることを宣言する。

第1条 個人情報保護に関する法令や規律の遵守

本会は個人情報の保護に関する法令及びその他の規律を遵守し、個人情報を適正に取り扱う。

第2条 個人情報の取得

本会は個人情報を取得する際には、利用目的を明確化するよう努力し、適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得する。

第3条 個人情報の利用

本会が取得した個人情報は、取得の際に示した利用目的もしくは、それと合理的な関連性のある範囲内で、本会の活動上必要な限りにおいて利用する。また個人情報の取扱を第三者に委託する場合には、第三者が個人情報の適正な利用を行う措置をとる。

第4条 個人情報の第三者提供

本会は、法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供しない。ただし第三者とは同窓会と同窓会員以外をいう。

第5条 個人情報の管理

本会は、個人情報の管理を適正に行い、安全に管理するとともに情報の紛失、改竄、漏洩等を防止するための対策をとる。

第6条 個人情報の開示、訂正、利用停止、消去

本会は、本人の個人情報について、開示、訂正、利用停止、消去などを求める権利を有していることを認識し、相談窓口を設置し要求のある場合は法令に基づいて対応する。

第7条 組織と体制

本会は、活動上使用する個人情報について適正な管理を実現するとともに、その体制をつくる。

第8条 個人情報の利用目的

本会の個人情報の利用目的は 1. 本会の運営、活動上必要な業務、2. 本会と学校法人育英学院との協定に基づく業務 3. その他この方針を遵守する範囲内の業務、とする。

個人情報相談窓口

本会の個人情報に関する相談窓口は以下のとおりとする

194-0215 町田市小山ヶ丘 4-6-8 サレジオ高専内

育英学院同窓会事務局（事務局長 高橋 孝）

TEL 042-775-3020 FAX 042-775-3021

育英学院同窓会 会長 藤谷 宏（当時）

2007 年 10 月制定

育英学院同窓会会則

第 1 章 総則

第 1 条 本会は育英学院同窓会と称する。

第 2 条 本会の事務所をサレジオ工業高等専門学校内に置く。

第 3 条 本会の会員は以下の各号に示すものとする

- (1) 正会員
- (2) 準会員
- (3) 特別会員
- (4) 名誉会員

2 正会員とは以下の各号に示す学校法人育英学院によって設置された学校の卒業生とする。括弧内は略称とする

- (1) 帝都育英工芸学校（旧制）
- (2) 帝都育英工業学校（旧制）
- (3) 帝都育英学院中学校（中学）
- (4) 帝都育英工業高等学校（工高）
- (5) 育英中学校（中学）
- (6) 育英工業高等学校（工高）
- (7) 育英高等専門学校（高専）
- (8) 育英工業高等専門学校（高専）
- (9) サレジオ工業高等専門学校（高専）

3 準会員とは前項 9 号に在籍している学生とする

4 特別会員とは第 2 項の各号に示す学校に在職した教職員または在職している教職員とする

5 名誉会員とは理事会で推薦し、評議員会及び総会において承認されたものとする

第 2 章 目的

第 4 条 本会は、以下の各号を目的として活動する

- (1) 会員相互の親睦を図る
- (2) 会員相互の扶助を図る
- (3) 第 3 条第 2 項の 9 号に示す学校（以下高専と称する）と会員間の連絡連携を図る
- (4) 高専の事業を支援する
- (5) サレジオ会同窓会世界連合の活動に協力する

第 3 章 事業

第 5 条 本会は第 4 条の目的を達成するために以下の各号に示す事業を行う。

- (1) 同窓会報の発刊
- (2) 会員台帳の整備
- (3) 親睦会、研修会等の開催。
- (4) 会員が企画するクラス会等の支援
- (5) 会員の慶弔
- (6) 高専に在学する学生の各種活動に対する後援
- (7) 高専の教育研究等の事業に対する後援、支援
- (8) 準会員に対する同窓会啓蒙活動
- (9) サレジオ会同窓会連合の国内連合、アジア連合等の総会への参加
- (10) その他本会の目的を達成するために必要な事業

第 4 章 役員及び役職

第 6 条 本会は次の役員をおく

- (1) 名誉会長 1 名
- (2) 会長 1 名
- (3) 副会長 6 名以内

(4) 監事 2 名

第 7 条 本会の運営に資するために理事及び評議員を置く

第 8 条 第 6 条の役員の選出、任務、任期を以下の各項に定める

2 名誉会長は高専の校長を推挙する。その任期は校長在職期間とする

3 会長は理事の互選により推挙し、評議員会及び総会の承認を得る。その任務は本会を代表し、その活動を統括する。任期は 2 年とし、再任を妨げない

4 副会長は理事のうちから会長が推挙し、評議員会及び総会の承認を得る。その任務は会長を補佐し、会の運営に係わる事業、広報、財務、業務（会計、書記、事務等）の責任を分担する。任期は 2 年とし、再任を妨げない

5 監事は評議員会の推挙により会長が指名し総会の承認を得る。その任務は会の運営に係わる業務及び会計を監査し、その結果を評議員会、総会に報告する義務を負う。任期は 2 年とし、再任を妨げない

6 役員が任期途中で退任した場合は会長が理事の中から選任し、その任期は退任した役員の残存期間とする

第 9 条 理事の選出と役割について以下の通り定める

2 理事は以下の各号による区分によって正会員の中から選出する。その任務は役員と連帯して本会の運営にあたり、役割を分担する

(1) 学域選出 22 名

① 旧制 1 名

② 中学 1 名

③ 工高 5 名

④ 高専 15 名

(2) 職域選出 2 名

(3) 会域選出 2 名

(4) 部域選出 4 名

3 学域選出とは学校法人育英学院が設置した学校から選出される理事

4 職域選出とは会員が 3 名以上在籍する企業、学校、団体から選出される理事

5 会域選出とは卒業生によって構成される理事会で承認された任意団体から選出される理事

6 部域選出とは在学中在籍した部活動の OBOG 会から選出される理事

7 理事の任期は不定とし、退任時に後任を選出する

8 理事は評議員会、総会で承認を得る

9 選出員数は標準とする

第 10 条 評議員について以下のとおり定める

2 評議員は正会員の卒業時の学年または学級から選出し、本会の運営、活動を審議する。その他本会則に定められた権限を行使する

3 評議員会は総会を開催することが困難な場合、その機能、権能を代行することができる

4 評議員は以下の各号の学年または学級を代表して選任する

(1) 旧制 1 名以上

(2) 中学 4 名以上

(3) 工高 16 名以上

(4) 高専 80 名以上

5 評議員は総会で承認を得る

第 11 条 本会には必要に応じて以下の役職を置くことができる

(1) 顧問

(2) 相談役

2 顧問は本会会長経験者とする

3 相談役は本会役員経験者とする

4 顧問、相談役は必要あるとき、会長の諮問に対して助言する役割を負う

5 顧問、相談役は総会、理事会、評議員会に出席することができる

第5章 会議

第12条 本会は以下の各号にあたる会議を開催する

- (1) 総会
 - ① 定期総会
 - ② 臨時総会
- (2) 評議員会
- (3) 理事会
- (4) 役員会

第13条 定期総会は学園祭開催期間中、隔年に召集開催するものとし以下の各号の議事を審議、決議する。

- (1) 当該年度の決算及び予算
 - (2) 当該年度の事業報告、事業計画
 - (3) 役員、理事、評議員の承認
 - (4) 名誉会員の承認
 - (5) 会則の改正
 - (6) その他本会の運営、活動に関する事
- 2 総会の招集がない年度、あるいは召集開催が困難である年度について評議員会をもってこれに替えることができる
- 3 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、または評議員の 2 分の 1 以上が議案を示し請求したときは開催しなければならない。
- 4 総会の定足数は出席者の承認によってこれを定める
- 5 正会員以外の会員についてはオブザーバーとして出席し、意見を述べることができるが議決権の行使はできない

第14条 評議員会は総会にかけの議案について審議するために、必要に応じて会長が召集開催する。定足数は 10 分の 1 とする

- 2 理事会は本会の運営ならびに評議員会、総会にかけの議案について審議するために必要に応じて会長が召集開催する。定足数は 3 分の 1 とする
- 3 評議員会、理事会の委任状による欠席は有効定足数に数えるものとする

第15条 理事会、評議員会の議決は出席者の過半数をもって決定する

第16条 役員会は本会の活動、運営のために随時召集開催する。運営上、必要な規定は別にこれを定める

第6章 会計

第17条 本会の運営経費は入会金と年会費の収入をもってこれに充当する。ただし、必要に応じて臨時会費の徴収及び寄付金を受けることができる。

第18条 入会金及び年会費の徴収について以下の各号のとおりとする

- (1) 準会員は入会金を卒業時に納入するものとする。
- (2) 正会員は年会費は納入するものとする。ただし、高専を卒業した会員については、卒業後 5 年間はこの限りではない
- (3) 会費の徴収方法については別に定める
- (4) 入会金、年会費については別途定める
- (5) 会費の改定については理事会で審議し、評議員会および総会の決議を得る
- (6) 名誉会員、特別会員、準会員は年会費の納入を免除する

第19条 本会の会計年度は定期総会のある年の 9 月 1 日に始まり、次の定期総会のある年の 8 月 31 日に終わる。

第7章 補足

第20条 会員名簿の記載事項に変更が生じたとき、本人または本人より委任された理事、評議員は遅滞無く本会（事務局）へ報告することとする。

第21条 本会の事務を処理するために高専内に事務局をおき職員を配置することができる

第22条 前条に基づき、サレジオ高専内に育英学院同窓会事務局を開設し、事務局長、事務

職員を高専と協議して決める

第23条 本会則のほか、運営上必要な細則は役員会で審議し、会長が理事会に提示し審議の上決定し別に定めるものとする

付則

1. 本会則は昭和 35 年 1 月 31 日より施行する
2. 本会則は昭和 62 年 1 月 27 日より施行する
3. 本会則は平成 7 年 1 月 31 日より施行する
4. 本会則は平成 17 年 10 月 28 日より施行する
5. 本会則は平成 19 年 10 月 27 日より施行する

会費規定

- 第1条 入会金を 12000 円とする
 第2条 年会費は 2000 円とする
 第3条 年会費の徴収は隔年とし 4000 円徴収する

慶弔規定

- 第1条 本会に関係する正会員、特別会員、名誉会員の弔時については、本会に連絡のあった場合、弔電をもってこれに替える。
 第2条 本会の慶弔金については、必要と認めた場合会長の承認を経て 5000 円を支出する。
 第3条 前条に関して、特別会員の場合は勤続 5 年以上を対象とする。
 第4条 原則として高専の同窓会事務局長が調整し、会長がこの任に当たる。

育英学院の沿革概要

1933 (S8)	学校設立準備、学校設立代表者ヴィンセンシオ・チマッチ
1934 (S9)	サレジオ会(カトリック修道会)により、育英工芸学校を創立 印刷科を設置許可
1935 (S10)	学校開設、工芸学校第 1 期生が入学
1938 (S13)	木材工芸科を新設
1940 (S15)	財団法人組織とし、帝都育英学院と称する
1942 (S17)	甲種工業学校に昇格、帝都育英工業学校と改称
1947 (S22)	学制改革により帝都育英学院中学校を併設
1948 (S23)	学制改革により帝都育英工業高等学校と改称
1949 (S24)	電気科を新設
1951 (S26)	学校法人帝都育英学院と改称
1960 (S35)	校名を育英工業高等学校・育英中学校と改称
1962 (S37)	育英高等専門学校設立認可
1963 (S38)	法人名を学校法人育英学院と改称、育英高等専門学校を開設、印刷工学科、電気工学科、工業意匠学科を設置
1965 (S40)	育英工業高等学校を廃校する
1967 (S42)	校名を育英工業高等専門学校と改称、工業意匠学科を工業デザイン学科と改称
1975 (S50)	印刷工学科をグラフィック工学科と改称
1975(S50)	育英テクニカルカレッジをサレジオンポリテクニクと改称
1976 (S51)	体育館落成、本館ロビー落成
1977 (S52)	学生食堂(フロイデハウス)落成・クラブハウス落成
1978 (S53)	グラフィック工学科印刷研究館落成
1980 (S55)	課外活動センター(カーサ・ポンテビアンカ)落成
1985 (S60)	ブレテック・ライブラリ館落成、育英学院創立 50 周年記念式典挙行 育英学院同窓会再発足(練馬文化センター)
1987 (S62)	電気工学科収容定員増・グラフィック工学科定員減

1988 (S63)	情報教育センター設置、男女共学の実施
1989 (H1)	電子工学科・情報工学科設置認可
1990 (H2)	電子工学科・情報工学科新設、5 学科編成、育英中学校廃止認可
1993 (H5)	女子学生第 1 期生卒業
1994 (H6)	グラフィック工学科研究生第 1 期生入学、工業デザイン学科研究生第 2 期生入学
1995 (H7)	1,2 年混成学級編成
1997 (H9)	グラフィック工学科をビジュアル情報工学科に改称、工業デザイン学科をデザイン工学科に改称
1998 (H10)	サレジオ文化技術交流センター(SITEC)落成、管理棟、学習室、多目的ホールなど
1999 (H11)	サレジオレジデンス落成
2001(H13)	専攻科(生産システム工学専攻)開設
2003(H15)	専攻科第 1 期生学士を取得して修了
2005(H17)3 月	ビジュアル情報工学科在校生全て卒業、育英高専杉並校舎を閉鎖、SITEC センターは育英杉並サイテックとしてサレジオ会に委託
4 月	サレジオ高専と改称し町田多摩境キャンパスに移転開校する。デザイン工学、電気工学、電子工学、情報工学の 4 学科編成となる。
5 月	学生寮を開設、サイテック多摩境寮、調布女子寮「友愛の家」落成式 IUS(サレジオ大学機構工学部連合)東京会議開催。
8 月	初めての 4 年海外研修旅行(韓国)
10 月	町田キャンパス初めての「育英祭」
2006(H18)4 月	多摩美大、創価大、東京工科大と本校専攻科間で単位互換協定を締結
7 月	教育研究基盤支援事業として募金活動を開始(2010 年まで)
11 月	ヘンドリックス元育英高専校長、瑞宝中綬章を叙勲
2007(H19)2 月	ヘンドリックス元育英高専校長叙勲のお祝い会開催(市ヶ谷)
5 月	本校が町田市指定避難地域に指定
7 月	校地東側隣接地を将来事業用地として購入
9 月	フィリピン・ドンボスコ大学マンダレイオン校と交流協定締結、相互訪問開始
11 月	第 20 回 NHK ロボコンにおいてロボコン大賞を受賞
2008(H20)4 月	電子工学科を機械電子工学科に名称変更
10 月	独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価を受審
2009(H21)3 月	同機構による高等専門学校機関別認証評価の基準を満たしていると認定される
4 月	デザイン工学科をデザイン学科に名称変更
2010(H22)11 月	育英学院創立 75 周年記念式典・祝賀会・卒業生の集い開催
2011(H23)2 月	サレジオ高専(町田キャンパス)に創立者「ドン・ボスコ」の聖遺物が到来
3 月 11 日	東日本大地震発生、町田も震度 5 弱、帰宅不能学生発生、危機管理体制の確立へ
2012(H24)8 月	故ヘンドリックス元校長逝去
10 月	故ヘンドリックス元校長追悼ミサ式、偲ぶ会開催
2013(H25)4 月	サレジオ(育英)高専昇格 50 周年(1963-2013)
2014(H26)12 月	学校法人理事長アルド・チブリアニ師逝去 同法人新理事長並木豊勝師就任(本校帝都育英中学 11 期卒)
2015(H27)	創立者ドン・ボスコ生誕 200 周年記念イベント(1815-2015)
2015(H27)3 月	JABEE(日本技術者教育認定機構)による審査を受審、「生産システム工学」教育プログラムの認定を受けた。これにより海外からも本校の技術教育水準が大学相当と評価
2015(H27)4 月	高専隣接地に「町田サレジオ幼稚園」を併設開園
2015(H27)5 月	サレジオ同窓会日本連合(東京、横浜、大阪、宮崎)結成役員会(高専開催)
2015(H27)10 月	サレジオ同窓会連合世界連合ローマ大会に日本連合代表団(近松副会長)派遣
2015(H27)11 月	独立行政法人大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審
2016(H28)10 月	サレジオ同窓会世界連合東アジア・オセアニア大会(東チモール開催)に日本連合代表団派遣(本同窓会より林会長・河村副会長が参加・高専から西野先生他卒業生 1 名)



75 周年記念ミサ（溝部司教司式）



75 周年祝賀会乾杯（但馬同窓会顧問）



ヘンドリックス元校長叙勲を祝う会



ヘンドリック元校長遺影（ベルギー）



サレジオ同窓会日本連合結成会合



サレジオ同窓会世界大会（ローマ）派遣



サレジオ同窓会東アジア・オセアニア大会日本代表団と参加者集合写真



校歌楽譜

校 歌

Hymn of Salesian Polytechnic

作詩 宝 田 賢
作曲 アンジェロ・マルゼリア

はて な く つ づ く に む さ し の ら こ う
み ど り の も り に は う ら ら ふ が

ぜ く か が や く 我 が ぼ こ う う に ー じ あ
を を あ お ぐ が く そ う に ー き よ

い と み ち に つ ち か わ ー れ を 伸 び
き し め い と よ き か わ ー れ を さ ず

ゆ く わ ー れ ら さ ち お お し い ざ
か る わ ー れ ら さ ち お お し い ざ

れ ん せ い ぞ や よ は げ め そ こ
れ ん せ い ぞ や よ は げ め そ こ

く の え い よ 背 に ー 負 う て 母
く の え い よ 背 に ー 負 う て 母

校 校 の 名 を ぞ 世 に と め ん
校 校 の 名 を ぞ 世 に と め ん

涯なく続く 武蔵野に
校は輝く 我が母校
慈愛とみちに 培われ
伸びゆく我ら 幸多し
いざ練成ぞ やよ励め
祖国の栄誉
背に負うて
母校の名をぞ
世にとめん

緑の森に 日はうらら
富嶽を仰ぐ 学窓に
清き使命と よき業を
授かる我ら 幸多し
いざ練成ぞ やよ励め
祖国の栄誉
背に負うて
母校の名をぞ
世にとめん

執行役員・顧問・相談役名簿

名誉会長	小島知博（現校長）
名誉顧問	
執行役員・会長	林 紹溢（専 6GB）
執行役員・副会長	奥山勇人（専 9D）
同	近松秀明（専 7EE）
同	川島幸子（専 31CS）
同	河村英和（専 1EP）
同	由良公一（専 22D）
同	林 智（専 10E）
事務局長	高橋 孝（高専事務長）
執行役員・事務局員	木戸能史（高 16EB）
監事	生田目彰久（高 11E）
同	
顧問	但馬 剛（高 10E）
同	山田 功（高 9P）
同	高村昌利（高 14E）
同	伊藤 勝（高 11P）
同	柳田國夫（高 11E）
同	藤谷 宏（専 7EE）
相談役	小川裕康（高 10C）
同	小林弘治（高 14P）
同	早足武夫（専 1D）
同	吉川 昇（専 12GA）
同・理事	桂島博明（高 16E）
同	野田憲隆（専 16E）
同	大沼哲郎（高 11E）
同・理事	加藤多津生（高 12P）
同	野澤忠義（高 14E）
同	横山東太郎（高 14E）
同	井上忠昭（専 5EE）
同	
同	
理事・評議員	別紙参照

資料編

2015.10.31

定期総会議題

Info2016

教育方針

理事会評議員会議案（総会資料）

育英学院同窓会

育英学院同窓会（2013.9-2015.8）
定期総会告知と議案
開催日 2015.10.31（土）16:00 サレジオ高専にて

以下の議案は2015.5.16開催の2013-14年度第3回理事会、2015.10.3開催の2015-16年度第1回理事会・評議員会に提案されたものをまとめたものを定期総会の議案として提案した。

第1号議案 同窓会の現況について

1. 理事会・幹事会名簿（省略）

2. 役員現況 顧問（元会長）9名、相談役（元執行役員）8名、現執行役員9名、理事（執行役員含む）42名、評議員名395名

3. 理事会定足数 42名の3分の1で14名以上で24名（委任含む）

4. 評議員会定足数395名の10分の1で40名以上で60名（委任含む）

5. 同窓会実勢現況 同窓会年報2015より2015.3.31現在
中学1373名、旧制38名、工高2203名、高専本科8990、
高専専攻科108、現元教職員649
（ただし中学から工高へ内部進学したものが重複登録されている）

6. 同窓会実勢現況2 同窓会データベースより2015.7現在
有効発送数7154名、住所不明者4958名、
発送停止79名、物故者469名

7. 同窓会の主要な業務

(1) 総会、理事会、評議員会等の開催

(2) 同窓会の運営、事業・決算・予算報告

(3) 会員データの管理、更新

(4) 同窓会報（高専ニュース併載）、同窓会年報の発行

(5) 高専行事（キャリアデー）への協力

(6) クラス会、同期会、クラブOBOG会、公認団体への支援

(7) 高専行事、学生募集等の情報提供（文書、BBS、HP）

(8) 育英サイテック（杉並）の施設無償利用の承認（修道会から）

(9) SHCDの年次開催

(10) サレジオ同窓会日本連合への参画

(11) その他

第2号議案. 2013-2014年度の事業報告

年月	活動内容
2013.9.2	西村監査役により2011-12年決算の会計監査実施
2013.9.7	定期総会の準備のため第1回理事会・評議員会開催
2013.9.16	育英グラフィックの会支援の事務代行

2013.10.10 高専ニュース130、131号封入発送

2013.11.2 育英祭サービスデスクを学生食堂に置く

2013.11.2 2013-14年定例総会開催、
CHD01&46開催（高専1期、46期招待）

2013.11.4 育英グラフィックの会高橋事務局長が校長代理として出席

2013.12.19 デジタルサイネージシステムへ補助寄付

2014.1.23 新卒47期生個人情報調査

2014.3.17 新卒47期生へ同窓会入会説明と同窓会年報を配布

2014.3.19 本科47期生卒業式・謝恩会に執行役員出席

2014.4.10 同窓会役員・元職教職員宛DBツアー案内発送

2014.5.17 キャリアデー支援・執行役員会・SHCD2014幹事会

2014.8. SHCD2014招待期生あて招待状発送

2014.8.9 サレジオ同窓会日本連合準備会（目黒）会長他2名出席

2014.9.4-13 ドンボスコツアー参加の加藤多津生先生に取材依頼

第3号議案 13-14年度決算報告

13-14年度決算経過（2013. 9—2014. 8—2015. 8）育英学院同窓会 2015/9/3 12:07				
	期首予算	摘要	決算	差額
収入の部				
前期繰越金	¥6,357,086		¥6,357,086	¥0
入会金	¥3,228,000	269名>245名変更	¥2,940,000	¥288,000
年会費	¥680,000	170口>延べ350口見込み	¥1,498,000	¥-818,000
寄付金	¥50,000	10名+事務代行+卒対	¥313,079	¥-263,079
預り金受入	¥0	支援諸団体（3団体）	¥228,000	¥-228,000
雑収入	¥1,200	利息他	¥22,368	¥-21,168
当期収入	¥3,959,200		¥5,001,447	¥-1,042,247
収入合計	¥10,316,286		¥11,358,533	¥-1,042,247
支出の部				
総会開催費	¥150,000	定期総会	¥0	¥150,000
名簿発行費	¥220,000	同窓年報（2014、2015）	¥276,600	¥-56,600
会報発行費	¥400,000	広報板+高専N（134号）	¥300,000	¥100,000
発送委託費	¥900,000	封入・送料	¥854,635	¥45,365
一般事業費	¥800,000	SHCD2013-14企画	¥1,511,219	¥-711,219
特別事業費	¥600,000	DB200（世界派遣）	¥367,010	¥232,990
会議会合費	¥70,000	会合経費	¥32,742	¥37,258
事務消耗費	¥400,000	封筒・振込用紙など	¥596,408	¥-196,408
通信送料費	¥150,000	一般送料	¥92,600	¥57,400
渉外交渉費	¥150,000	日本連合年会費（新規）他	¥469,990	¥-319,990
慶弔費	¥70,000	弔電・香典	¥56,193	¥13,807
旅費交通費	¥10,000	役員出張（日本連合）	¥329,543	¥-319,543
手数料	¥30,000	払出	¥48,891	¥-18,891
預り金支出	¥0	支援諸団体（3件）	¥228,000	¥-228,000
当期支出	¥3,950,000		¥5,163,831	¥-1,213,831
当期収支差	¥9,200		¥-162,384	¥171,584
次期繰越金	¥6,366,286		¥6,194,702	¥171,584
支出合計	¥10,316,286		¥11,358,533	¥-1,042,247

第 2 号議案 2013-2014 年度の事業報告 (前頁からつづき)

2014.10.4 SHCD2014 の準備のため第 2 回理事会幹事会

2014.10.6 高専ニュース 132,133 号封入発送(16 日)

2014.10.11 サレジオ同窓会日本連合準備会 (大阪) 会長他 2 名出席

2014.11.1 卒業生の集い (SHCD2014) 開催

高専 2-5 期、41-42 期、47 期生招待

2015. 2.21 サレジオ同窓会日本連合横浜会合に執行役員出席

2015.3.20 第 48 期卒業式・謝恩会に執行役員出席

2015.4.29 町田サレジオ幼稚園落成式に林会長・但馬顧問他出席

2015. 5. 9 サレジオ同窓会日本連合町田 (本校) 設立役員会開催

4 同窓会役員来校

2015.5.16 キャリアデー2015 支援、執行役員会、

13-14 年第 3 回理事会・SHCD2015 幹事会開催

2015.8 SHCD2015 開催招待期生に招待状発送

第 3 号議案 13-14 年決算報告 (前頁からつづく)

注記 13-14 年度決算について

1. 今期は期首に想定しなかったサレジオ同窓会日本連合結成、世界連合に関わる支出が発生し、予実差が大きい項目が発生した。

2. 収入の部では入会金の卒業生数減少、年会費納入者の増などから当期収入約 104 万増で 1136 万の収入計となった

3. 支出の部では SHCD2014 経費、世界大会経費、日本連合年会費、同役員出張経費などが当期支出で約 121 万超過となり、収支差から繰越金が 17 万ほど減少した

第 4 号議案 2015-2016 度の主要業務と事業計画

主要業務

⑴ 総会、理事会、評議員会等の開催

⑵ 同窓会の運営、事業・決算・予算報告

⑶ 会員データの管理、更新

⑷ 同窓会報 (高専ニュース併載)、同窓会年報の発行

⑸ 高専行事 (キャリアデー) への協力

⑹ クラス会、同期会、クラブ OBOG 会、公認団体支援

⑺ 高専行事、学生募集等の情報提供 (文書、BBS、HP)

⑻ 育英サイテック (杉並) の施設無償利用の承認

⑼ SHCD の年次開催

⑽ サレジオ同窓会日本連合活動

⑾ その他

2015.10.3 15-16 年第 1 回理事会・評議員会・SHCD 幹事会開催

2015.10.3-6 サレジオ同窓会世界連合 (ローマ) に日本連合代表団鈴木正夫神父とともに 3 名派遣 (内育英から近松副会長)

2015.10.31 15-16 年 定期総会 2015・SHCD2015 開催 (育英祭時)

2016.2 サレジオ同窓会日本連合宮崎会合に会長他派遣

2016.3 第 49 期卒業式・謝恩会に執行役員出席

2016.5 キャリアデー2016 支援、執行役員会、

第 2 回理事会、SHCD2016 幹事会

2017.x サレジオ同窓会アジア連合 (東チモール) に日本連合代表団派遣

2016.9 第 3 回理事会、SHCD2016 幹事会

2016.10 SHCD2016 (育英祭時、高専 11-15 期、44 期、49 期招待)

2017.3 第 50 期卒業式・謝恩会に執行役員出席

2017.5 キャリアデー2017 支援、執行役員会、

第 4 回理事会、SHCD2017 幹事会

2017.9 17-18 年度第 1 回理事会評議員会、SHCD2017 幹事会

2017.10 17-18 年度定期総会、SHCD2017 開催

(育英祭時高専 16-20 期、45 期、50 期生招待)

第 6 号議案 サレジオ同窓会日本連合の設立

(設立役員会議事録参照)

2015 年 5 月 9 日、本校において標題の会合が開催された。その議事録 (別掲) と役員を以下の通り紹介する。また加盟の年会費各校 20 万円 (年) を了承した。

日本連合の参加校と主な役員

育英学院 (東京)、サレジオ学院 (横浜)、

星光学院 (大阪)、日向学院 (宮崎)、小平サレジオ (東京)

会長 吉田博史 (星光)

副会長 林紹溢 (育英)、野崎伸一 (日向)、倉知恒久 (横浜)

小太刀秀明 (小平)

理事 近松秀明 (育英)、由良公一 (育英) 他、サレジオ学院

2 名、星光学院 5 名、日向学院 2 名、小平サレジオ 1 名

監事 奥山勇人 (育英) 他サレジオ学院 1 名

顧問 山野内倫昭 (管区長)、小島知博 (育英) 他 4 名

事務局 立石光洋 (サレジオ学院)、大川千尋 (星光)

第 7 号議案 定期総会・SHCD2015 開催について

開催日 2015 年 10 月 31 日 (土) 午後 4 時〜6 時

会場 サレジオ高専内学生食堂 予定人数 150 名程度

招待 6-10 期、43 期、48 期、会費会員、特別会員、同窓会役員

第 8 号議案 副会長選任 (林智理事>副会長)

第 5 号議案 2015-16 年度の予算

15-16 年度予算概算 (2015. 9—2016. 8—2017. 8) 育英学院同窓会 2015/9/3 12:08

	当期予算	摘要	前期予算	差額
収入の部				
前期繰越金	¥6, 194, 702		¥6, 357, 086	¥-162, 384
入会金	¥3, 528, 000	49 期+50 期 294 名	¥3, 228, 000	¥300, 000
年会費	¥1, 000, 000	250 口見込み	¥680, 000	¥320, 000
寄付金	¥100, 000	10 名+事務代行+卒対	¥50, 000	¥50, 000
預り金受入	¥0	支援諸団体	¥0	¥0
雑収入	¥10, 000	利息他	¥1, 200	¥8, 800
当期収入	¥4, 638, 000		¥3, 959, 200	¥678, 800
収入合計	¥10, 832, 702		¥10, 316, 286	¥516, 416
				¥0
支出の部				¥0
総会開催費	¥50, 000	定期総会 2015. 10	¥150, 000	¥-100, 000
名簿発行費	¥240, 000	同窓年報 (2016, 2017)	¥220, 000	¥20, 000
会報発行費	¥600, 000	高専 N (135, 136, 137, 138 号)	¥400, 000	¥200, 000
発送委託費	¥800, 000	封入・送料	¥900, 000	¥-100, 000
一般事業費	¥1, 500, 000	SHCD2015-16 企画	¥800, 000	¥700, 000
特別事業費	¥200, 000	連合特別企画	¥600, 000	¥-400, 000
会議会合費	¥70, 000	会合経費	¥70, 000	¥0
事務消耗費	¥400, 000	封筒作成他	¥400, 000	¥0
通信送料費	¥150, 000	一般郵送料	¥150, 000	¥0
渉外交際費	¥450, 000	卒対、日本連合会費 (16-17)	¥150, 000	¥300, 000
慶弔費	¥70, 000	弔電・香典	¥70, 000	¥0
旅費交通費	¥200, 000	役員出張 (日本連合)	¥10, 000	¥190, 000
手数料	¥30, 000	払出	¥30, 000	¥0
預り金支出	¥0	支援諸団体	¥0	¥0
当期支出	¥4, 760, 000		¥3, 950, 000	¥810, 000
当期収支差	¥-122, 000		¥9, 200	
次期繰越金	¥6, 072, 702		¥6, 366, 286	¥-293, 584
支出合計	¥10, 832, 702		¥10, 316, 286	¥516, 416

注記 ① 総会経費から SHCD 開催経費を一般事業費に組み替えた。収支差では繰越金 12 万減の見込み、ただし入会金増 (本科卒業生が増加の見込み) と年会費の理解が進み納入者の増を図ることで改善される見込み

念願のサレジオ同窓会日本連合結成される
育英学院サレジオ高専で結成役員会開催
2015.5.9



Founding of the National Federation of Salesian Past Pupils

Fr Yoshiki Sekiya, SDB

議事録（上記集合写真は当日マリア像の前で）

1. 開会の言葉（林副会長）

- ・司会進行役の林副会長（開催校・育英学院同窓会長）より、開会の宣言があった。山野内管区長とともに全員で「聖ヨハネ・ボスコへの祈り」を唱えた。

2. 歓迎の挨拶（小島神父）

- ・同窓会連合設立にあたって尽力された皆さんに祝意と感謝を申し上げたい。サレジオ高専としてこの連合に協力していきたい。日本連合はポテンシャルの高い同窓会であると考えている。今後、様々な活動を通して、世界の人々にも知っていただける組織となるように期待している。

3. 会長の挨拶（吉田会長）

- ・会合参加者、サレジオ高専・育英学院同窓会の関係者に感謝している。城星学園（扶助者聖母会）、大阪星光学院で学んだ。星光の同窓会長は 7 年目となった。同窓会の目標：①期を超えて「集う」こと、②学院に対する物心両面の支援、③社会への貢献、が少しずつ形づいてきたと考えている。
- ・サレジオ同窓会連合の会長として、役員・メンバー一人ひとりの力が必要である。各人の考え方の違いを踏まえ、言うべきことを言い合いながら、世の中のために何ができるか、しっかりと答えを導いていきたい。理解と協力をお願いしたい。
- ・ドン・ボスコ生誕 200 周年のタイミングにあたって本連合が設立されたことに感慨を覚えている。サレジオ会日本管区、各校、各同窓会、メンバーの家族の繁栄と発展を心より祈っている。

4. 議長および書記の選出

- ・本役員会の議長として吉田会長を、書記として大川事務局員を全会一致の上選出した。

5. 参加者紹介

- ・本役員会参加者より自己紹介があった。

6. 議案

【前回議事録の承認】・参考資料 1 により、昨年度第 3 回会合の議事録

を確認し、全会一致で承認した。

【第 1 号議案】サレジオ同窓会日本連合の設立

- ・資料 1-1、1-2 に基づき、役員名簿・規約の内容を確認し、サレジオ同窓会日本連合の設立を全会一致で承認した。

【第 2 号議案】2015 年度事業方針および収支予算案

- ・資料 2-1、参考資料 2、および、参考資料 3 に基づき、2015 年度事業方針案、ドン・ボスコ生誕 200 周年の取り組み、サレジオ同窓会連合世界大会の案内等について、立石事務局長より説明があった。
- ・同窓生・教員対象の巡礼はまだ募集中。参加を検討してほしい。（山野内管区長）
- ・ドン・ボスコの漫画『コラッジョ!!』が完成し、間もなく発売される。サレジオ会学校連合会では、全生徒・児童向けに購入・配付予定。漫画は英語・イタリア語などに翻訳し、全世界に展開を予定している。
- ・DB200 記念 T シャツは、林連合副会長の尽力によって出来上がった。ポロシャツなど他の募金グッズを現在準備中。
- ・サレジオ同窓会世界連合会議の参加申し込み締め切りは 5 月末（事務局まで）。
- ・次期アジア大会（2017 年）開催地は東ティモール。現地で活躍中のサレジオ高専 OG やボランティアグループのつながりを活かしたい。
- ・資料 2-2 に基づき、2015 年度収支予算書（案）について、横山理事より説明があり、各同窓会分担金を 20 万円（上限）に増額することとした。支出として、新規同窓会（サレジオ小・中同窓会）設立支援費、予備費それぞれ 10 万円を計上することとした。
- ・2015 年度事業方針および収支予算案について、いずれも全会一致で承認した。また小太刀連合副会長よりサレジオ小・中同窓会設立支援について謝意が示された。

7. 懇談

- ・資料 3 をもとに、今後の活動等について意見交換を行った。

【交流活動について】

- ・メーリングリストを作成し、役員会メンバーを中心に情報を共有できる形にする。
- ・集いやすいイベントを繰り返し、互いの同窓会の存在を周知していく必要がある。また各同窓会のイベントについて他校同窓会メンバーを招待できるものがあれば、メーリングリストを活用し、広く参加を呼びかけていく。
- ・11 月 23 日のドン・ボスコ生誕 200 周年閉幕イベントは、同窓会連合にとって大きなチャンス。各同窓会から担当者を募り、ユニオーネと合同で大同窓会を準備していきたい。参加予定のサレジオ会員（恩師）を事前に把握し、同窓生に広く参加を呼びかけたい。
- ・日本連合も世界連合同様に、数年に 1 度大きな会議を開き、広く参加を呼びかけていってもよいのではないかな。あるいは全体会合の間隔をもう少し短くして、具体的な活動を積極的に進めていってはどうかな。
- ・次回 2016 年 2 月開催予定の役員会前に、会長・副会長レベルで準備する必要がある。

【10 月世界大会について】

- ・派遣予定者：育英学院：近松理事、日向学院：検討中、大阪星光学院：5 月 23 日同窓会総会で決定予定、サレジオ学院：立石事務局長、サレジオ（小平）は見送り、顧問の派遣についてはサレジオ会で検討、派遣にあたって、準備会を行いたい。
- ・世界大会に参加すると、サレジオの精神を生き、活躍している世界の同窓生の姿に触れることができる。2021 年以降のアジア大会の開催を日本連合に要請される可能性がある。

【若者支援活動について】

・各校の特色を生かした形で、各同窓会の枠を超えた若者支援・職業教育（生徒に対するガイダンスなど）を展開できないか。生徒や若手同窓生の可能性が広がるのでは。

<この他の意見>

- ・地域ごとに交流をもつことが現実的。日向学院では、東京で大きな集いを 11 月第 1 週土曜日に行っている。
- ・大阪星光学院では、東京星光会・大阪大忘年会とも 250 名ほど参加。幹事の担当期を毎年変えて、各期で引き継げるようにしている。
- ・サレジオ学院では、25 歳と 50 歳になる期に呼びかけて同窓会を行っており、徐々に浸透しつつある。星光同窓会と同様に作成したドン・ボスコのピンバッジを卒業生に配付したところ、保護者も含めドン・ボスコの学校としての認識が少しずつ高まりつつある。

【次回役員会について】

- ・次回役員会は、2016 年 2 月に宮崎・日向学院にて開催予定。

8. 管区長の挨拶と閉会挨拶

- ・長い準備を経て、このドン・ボスコ生誕 200 周年に 1 つの夢が実現した。心から感謝したい。集まる場を通して絆が広まっていくことを実感している。同窓生の輪をさらに広げて、社会・国際社会への貢献の面もぜひ考えていってほしい。
- ・機関誌『ドン・ボスコの風』で同窓生の記事が毎回書かれている。広告などの形も含め、同窓生にさらに協力してもらえるとありがたい。
- ・林副会長より、閉会の宣言があった。

卒業生からキャリアデー講師に

恒例の高専キャリアデー開催・比留間新センター長と会食

2015.6.9

2015 年度 OB/OGキャリアデー 講師の方々

2015/7/8 作成

情報工学科	
講師氏名	期 所属
1 岸川雄一	様 26 パナソニックデバイスマテリアル販売株式会社
2 高橋 健	様 31 NTT Communications株式会社
3 野郎 豪	様 47 株式会社NIT-MC
4 寺井 豊一郎	様 45 富士重工株式会社
5 井村 匠吾	様 47 日本信号株式会社
6 並木 渉	様 44 ヤフー株式会社

計6名

機械電子工学科	
講師氏名	期 所属
1 乙幡裕文	様 36 ハイデンハイン株式会社
2 田中竜太郎	様 39 八王子市
3 奈須川佑太	様 42 アンリツ
4 保岡集也	様 43 JR東海
5 佐藤温	様 46 メタウォーター(株)
6 宮城雄基	様 46 東京電力

計6名

デザイン科	
講師氏名	期 所属
1 和田泰	様 46 日本フォームサービス株式会社
2 古野真菜美	様 47 千葉大学工学部デザイン学科
3 池田さやか	様 47 東京造形大学造形学部デザイン学科インダストリアルデザイン専攻
4 高木真菜美	様 47 株式会社 エーワ
5 中村悠	様 47 丹青TDC

計5名

電気工学科	
講師氏名	期 所属
1 高田慎保	様 14 FFGテクノサービス(株)
2 置田隆志	様 20 ユニテック電空設(株)
3 青木裕太	様 43 メタウォーター(株)
4 菊池謙之	様 44 KYB(株)

計4名

総計 21名

2015 年度から新キャリアセンター長に就任した比留間真先生（デザイン学科）と当日参加した林会長他とで懇談し、今後の協力体制について会話をした。

卒業生の動向と短信

同窓会 BBS 情報他から紹介 2014-2015

★高専 5 期印刷（グラフィック）

有志が会合(2015.4.11)

SHCD2014 で参集した同期が声をかけてクラス会を新宿で開催。恩師の鈴木雄二先生を迎え、カナダから帰国した高梨、他に中楠、長島、上野、天野、林（会長）が出席、再会を祝った。



★サレジオ高専写真部 OB 会新 OB・OG 歓迎会開催

去る 3 月 22 日（日）、今年卒業した 48 期の写真部員を対象とした歓迎会をゲートシティ大崎で開催しました。今年の新 OB は 5 名（男子 3 名、女子 2 名）で、当日の参加は 3 名の男子でした。元顧問の川本成美先生の挨拶から始まり、OB・OG21 名で新 OB を迎える歓迎会になりました。杉原文治会長より新 OB・OG に会長勤務先で作成した作成したカラーチャートのプレゼントがありました。写真部 OB 会に関する問い合わせは、幹事会幹事長・小泉（S12GA）までお願いします。

★BBS287 前田憲男さん（H16PA）写真展を開催

去る 2015.4.22～27「スリランカの野生動物」という作品名で西新宿のリコーイメージングスクエア新宿で開催した。前田氏は「カエル」の生態写真家として有名。「カエル 前田」で検索

★BBS292 神田雄大さん(S26ID)情報提供

2015.4.9 に BS の旅番組に同級の大平知生さん出演

<http://www.bs-fuji.tv/streetcar/index.html>

<http://www.strasburgo.co.jp/mens/brands/cisei.html>

ダイキンの HP で関康一郎さんが紹介されている

<http://www.daikin.co.jp/salone/dialog/index.html>

★BBS296 中村哲雄（元育英中学、工高教諭）画伯グループ展開催 2015.5.18～23 先生のグループ展が日本橋のギャラリー白百合で開催された。<http://www.y-iwakami.co.jp/2.html>

★BBS299 飯野昭さん（S12EB）の「見守りドア」が WBS に 2015.6.29 高専ニュース 134 号で紹介した独居高齢者を見守るアイデア商品が WBS（テレ東）の「トレたま」で紹介された。関係業界で期待されている。

★BBS301 西村美博さん（S9EE）下井草駅南口で「パンとぶどう酒」をメインとした居酒屋を開業した。ご利用を・・・

https://www.facebook.com/pages/立ち飲みワイン屋パンとぶどう酒/1120441514637253?ref=aymt_homepage_panel

★育英グラフィックの会 2015 開催

今年も恒例の勉強会と懇親会を 11 月開催の方向で検討中であると聞いている。8 月から 9 月にかけて幹事会で企画する。詳細が決まったら同窓会掲示板 BBS にアップし、登録会員には案内を郵送の予定。

★高専 5 期電気工学科同期会開催

去る 8 月 22 日（土）、築地市場「すしざんまい・奥の院」で開かれた。報告は BBS に掲載予定。幹事（近藤、白木、石田、井上忠）

★事務局から

BBS は閲覧のみならず投稿もできますので会合や求人、求職、尋ね人などご利用ください。ただし ID,PW が必要なので以下にお問い合わせください。SNS は当職の技量が不足して対応していませんが、卒業生で紹介したい方がいましたら BBS へどうぞ

kido@salesio-sp.ac.jp(木戸)

同窓会情報は高専卒業生から同窓会 HP に入って閲覧、ML 他卒業生情報は BBS を活用してください。SHCD2016 (卒業生の集い 11-15 期、44 期、49 期生を招待) 記事は高専ニュース 138 号(2017.5)に掲載予定。SHCD2017 (卒業生の集い 16-20 期、45 期、50 期生を招待) は育英祭 2017 (2017.11.4-5) の第 1 日目 11 月 4 日(土)に開催予定、2017 年 8 月には招待期の方に招待状郵送、2017 年 10 月には全会員へ高専ニュース 138-139 号とともに案内を発送します。

同窓会から卒業生への アプローチ

1. 毎年秋に高専ニュース(同窓会報)を郵送します。
2. メルアド登録された方へ【育英同窓】のヘッダーで随時配信します。
3. 卒業後、最初の秋の育英祭で、開催される Salesio Home Coming Day に招待します。
4. 将来開催されるクラス会開催の際にクラス幹事(評議員)を通じて支援します。
5. 卒業後 5 年経過したときから年会費の納入をお願いします。
6. 同窓会ホームページに情報を提供
同窓会 HP
<http://www.ikueigakuin-dosokai.org/>
同窓会 BBS
<http://www.ikueigakuin-dosokai.org/cgi/gwbbs/doso/gwbbs.cgi>
を閲覧、投稿できます。(ID : doso
PW : ikuei)
高専
http://www.salesio-sp.ac.jp/main/for_graduate.html
7. 逝去された卒業生には弔電手配します

卒業生から同窓会、学校への アプローチ

1. 住所、進路、勤務先、姓名変更など異動があったとき、同窓会事務局、あるいは高専事務局宛連絡をお願いします。
2. 郵便 194-0290 (専用番号)
町田市小山ヶ丘 4-6-8
サレジオ高専同窓会
電話 042-775-3020
FAX 042-775-3021
Mail kido@salesio-sp.ac.jp
3. 学校への訪問はお会いになる先生などに一報いただくと有り難いです。訪問時守衛室でお名前と面会教職員のお名前を申し出てください。
4. 【育英同窓】のメーリングリストの最初の発信を 2014 年 2 月末に予定しています。その後不定期(月 1-2 回)に配信しますが、届かないときは一報ください。
5. 各種証明書の発行は HP のお問い合わせからでもできますし、電話でも事務部教務係でお受けできます。ただし即日発行は勘弁してください。余裕をもってお願いします。
http://www.salesio-sp.ac.jp/main/for_graduate.html

3.1 理念・目的・目標

<本校の教育方針について>

3.1.1 教育理念

本校はローマカトリック教会において青少年教育を目的として事業を始めた聖人ヨハネ・ボスコ（伊 1815-1889）によって創設されたサレジオ修道会が全世界に展開している学校の 1 つとして 1935 年東京に創立された。1985 年、前身の育英工業学校の創立から数えて 50 周年を迎えたその際、教育理念を明確にしようとする当時のスタッフにより以下の 3 つの校是が定められた。

校是 1 「神は愛なり Loving Kindness」より

カトリック・ミッションによるキリスト教の精神に基づく教育

校是 2 「技術は人なり Human Technology」より

教養と専門を基盤とする総合的人格陶冶に基づく技術者教育

校是 3 「真理は道なり Living Truth」より

理論と実践を両輪に創造性と探究心あふれる人間教育

<校是の解説>

その言葉の出典は校是 1 と校是 3 はともに聖書から引用された言葉である。

校是 1 は「愛する者たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出るもので、愛する者はみな、神から生まれ、神を知っているからです。愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです」（ヨハネ 4 章 7 節）に基づく。「人類に幸福をもたらす技術」を目指す本校は、神が人間を愛しているので、人間は神の導きによって神から与えられた技術を用いて人類に幸福をもたらすことができるという信念をもつ。

校是 2 はわが国の写真電送の発明者である丹羽保次郎（日 1893-1975）の言葉で技術はそれに関わる人の有様によって生み出されるものが左右されると述べられている。それはキリスト教の最も重要な教えのひとつに「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」（マタイ 22 章 39 節）という言葉があるように、人類のために使われる技術を生み出す技術者は隣人のために誠実に振舞わなければならないという信念のもと「人類に幸福をもたらす技術」の拾得を目指す。

校是 3 は「真理を行うものは光の方に来る。その行いが神に導かれてなされたということが、明らかにするために」（ヨハネ 3 章 21 節）に基づく。学問を通して真理を探究する者には神は道を示してくれる。真理を求めて歩むこと自体が、知的に、精神的に人間を高めるという信念から「人類に幸福をもたらす技術」を学び、向上する精神を大切にする。

<基本精神>

創立者ヨハネ・ボスコの精神に基づき、彼らが善き社会人になるために、キリスト教精神に基づいた人間教育を目標とする。キリスト教精神とは、忍耐、寛容、ゆるし、謙遜、誠実（Ⅰコリ 13 章）を意味する。さらに本校で学び、習得した技術を通して人類社会に貢献できる人間を育て、聖書のことばにある「地の塩」（マタイ 5 章）に象徴される、それぞれが習得した能力や与えられた立場を生かして、社会を支える技術者になることを勧める。キリスト教の世界観と全世界に 2350 余の姉妹校を持つ本校は、その連携を通して、人類社会という世界に開かれた視野を持つ実践的技術者を育成する。さらにヨハネ・ボスコが大切にした、「予防法教育実践」にもとづく、常に教えられる者とともに、彼らの目線でものごとを捉え、とも

に歩む姿勢「アシステンツァ」という教育手法を実践する。

3.1.2 教育目的

－ 基本精神 －

キリスト教精神に基づく人間観を持った善き職業人を養成する

1. 専門性…深く専門の学芸を教授し高度の工業専門教育を行う
2. 国際性…国際社会で活躍できる有為な人材を養成する
3. 人間性…社会性豊かな、創造性に富んだ、チャレンジ精神溢れる個性に伸ばす

<基本精神の解説>

創立者ヨハネ・ボスコの精神に基づき、健全な青少年を育成するために、彼らが善き社会人となるために必要な糧を与えることを目標とする。それは技術を通して人類社会に貢献できる人間を育てることであり、社会の華やかな舞台ではなく、聖書の言葉である「地の塩」に象徴される、見えないところで大地を支える岩塩のように、社会を支える技術者になることを勧める。キリスト教の世界観と全世界に 1600 余の姉妹校をもつ本校はその連携を通して、人類社会という世界に開かれた視野を持つ実践的技術者を育成する。さらにヨハネ・ボスコの常に教えられる者とともに、彼らの目線でものを考え、ともに歩む姿勢「アシステンツァ」という教育方針を実践する。

3.1.3 教育目標

教育目的を実現するために、サレジオ工業高等専門学校は以下に掲げる素養を持つ技術者を育成することを教育目標とする

3.1.3.1 準学士課程の教育目標とその背景

平成 19 年度までの info2007 には以下の教育目標が示されていた。

以下に掲げる素養を持つ技術者を育成することを目標とする。

- A. 基礎力：専門分野に関する基礎的な知識・技能を身につけた技術者
- B. 実践力：アイデアを具現化することができる開発型技術者
- C. コミュニケーション力：物事を論理的に考え、文章や口頭によって意思疎通ができる技術者
- D. 健全な倫理観に基づき技術によって社会に貢献できる技術者
- E. 国際社会の一員として考え、行動できる技術者

従来の学校教育目標が JABEE 準備委員会によって平成 16 年度に審議、提案された事情から上記の目標達成は主として高専 4-5 年から専攻科 1-2 年の学士課程を想定したものであった。平成 20 年、機関別認証評価を受審するにあたって、高専 1-5 年の準学士課程と専攻科 1-2 年については両課程を履修する学生の員数は大きく異なり、必然的に準学士課程で卒業する大半の学生の目標は専攻科に進む 10%以下の学生の達成する目標とは異なるべきであるという観点が示され学校教育目標を改定することとなった。

前節で定めた教育目的、これは従前と変わらないが、に基づく技術者がもつべき素養、すなわち達成目標をそれぞれの課程ごとに定めることとする。技術者の標準的カテゴリーを考えると高専の出身者に対する産業界の期待は大企業から中小企業では多少異なるものの非常に大きな期待を寄せられていることは事実である。準学士課程では 5 年間の「実践型技術者」の完成教育を、専攻課程はそれに加えて 2 年間で開発型技術者ないし、研究開発型技術者となることを期待されている。ではそれぞれの課程において技術者としてどのような素養を持つべきなのであろうか。平成 20(2008)年度に以下のように改定した。

準学士課程にあつては実践的技術者となるために以下のような力を身につけることを目標とする

- A. **基礎力**：専門分野を学ぶために必要な基礎的学力や技能
- B. **実践力**：提示された課題を正確に必要なかつ十分に実現する力
- C. **コミュニケーション力**：物事を論理的に考え、それらを文章や言葉で表現する力
- D. **人間性**：健全な人格を育成し、社会性をもつ人柄となる力
- E. **国際性**：海外の人々と交流するために必要とする基本的な力

「基礎力」については後期中等教育である高等学校課程に相当する 1-3 年の課程を抱えている以上、ここでは当然一般教育の英語、数学を始め、後に学ぶ専門教育に必須の教科を通して基礎力をつけることである。それは従前の専門分野の基礎力まで及びものであって当然である。

「実践力」については上位の技術者から指示された課題について確実に対応して実行できることがまず必要である。次にその過程において自分なりの工夫やアイデアを投入して問題解決ができればなお良い。

「コミュニケーション力」については基礎力をもとに課題や実験報告を作成したり、特に最近の若者に不足しているといわれる自分の意思を相手に伝える、相手の考えを読み取る力が一般、専門の両分野にかかわらず必要である。その力はやがて調査報告、研究発表や学会発表での能力を養成することにつながる。

「人間性」についてはまず技術者以前に多感な青年期を過ごす 16-20 歳の 5 年間に健全な人格をつくること、またこれも最近指摘される青少年の社会性の欠如を十分に配慮する必要がある。特に低学年においてはこれを配慮する必要がある、その後高学年にあつて技術者としての倫理観や技術のもつ社会性に目覚めさせる必要がある。

「国際性」についてはまず身近な周囲において多様な価値観をもった人々との交流ができることが重要である。多様な人々の意味は外国人に限定したものでなく異なる考えをもった人の意味も含む。その上で、学内における外国人教員、留学生、海外研修、その他の国際交流の場面で活かされる。

新しい目標は準学士課程の 5 年間で多くの学生が達成しなければならない目標であり、いわゆるミニマム・リクワイアメント（最小達成目標）として制定した。これらの学校目標をもとに学科、教科の学習教育目標が定められるが、それらの学科、教科目標は学校目標を最低基準としてより高い目標を目指すことになる。また現在の新カリキュラムが平成 16 年度から導入された関係で従前の学校目標を前提に組み立てられていることもある。なお従前の目標と新しい目標は断絶したものではなくここまで説明してきた背景に基づくものであることを理解してほしい。

3.1.3.2 専攻科課程の教育目標とその背景

専攻科課程にあつては準学士課程で身につけた実践的技術者としての基礎の上に、より深い専門基礎力と特別研究を通じての研究開発の体験を基に研究開発能力を有する技術者となるために以下の目標を達成する

- A. **基礎力**：自身の専門について、常に基礎に還り、新知識を創り出す能力を養う
- B. **専門力**：より高度な専門領域について、講義、演習、実験、実習や研究を通して知識のみならず、学ぶ力を養うことにより、創造的研究開発能力を得る
- C. **コミュニケーション力**：発表の場（学内発表、学会発表等）において、論文作成、研究発表（情報発信）、質疑応答を行い、真の意味でのコミュニケーション力を養う
- D. **人間性**：学問を通して人間性を養い、良き技術者となる
- E. **国際性**：国際的な視野を持って研究を行い（文献調査や国際会議参加など）、自身の研究の位置づけを理解するとともにエンジニアとしての国際性を身につける

これらの目標達成に専攻科では特別研究を中心に本当の意味での研究を行うようにしている。その成果例として、添付資料は専攻科学生が行った研究成果の国際会議（レフェリー付）、学会発表を示している。

（１）の基礎力は電磁気学、電気回路とその演習をいくらやっても身につくものではなく、研究の過程での議論で常に教員～学生間で基礎に帰ることにより研究が遂行され、基礎力がつくものと考え

（２）は研究が全て新しいこと（世の中で判っていないこと）がテーマで実験、理論の展開によって遂行される。

（３）は２年間で５回行われる発表会を通じ培われる。

（４）の人間性はその涵養が難しいが「人格は学問をすることによって培われる。」（徳島大学小田教授（心理学）談）ことでここでも真の研究が要求される。

（５）は１項で述べた「研究イコール国際的」であることである。

以上のような内容を実施するにあたっては一人の教員だけによる偏りがないように

（ア）主査・副査制の導入

（イ）フェロー制度

を平成１９年度から実施している。なお専攻科の教育理念の背景についてはこのinfo2015の第５章７専攻科生産システム工学専攻紹介のページにおいて「Ｔの字型教育理念」として紹介している。

目次		
目次・凡例		表紙裏
会長挨拶		1
個人情報保護方針		2
同窓会会則（改訂）		3
沿革		6
校歌		9
卒業生名簿	（ ）内は通算人数	10
中学	C03_001 -- C23_035(1737)	掲載略
旧制工業	AQ00001 -- AQ00040(38)	掲載略
新制工高	H01P_01 -- H16C_40(2203)	掲載略
高専本科	S01P_01 -- S37CS52(7492)	掲載略
専攻科	P01AC01 -- P14AC11(119)	11
高専本科	S38AD01 -- S49ME40(1626)	13
新卒	P15AC01 -- S50ME56(153)	35
教職員	アイ加 -- ㇿ(663)	38
同窓会資料		
執行役員・顧問・相談役名簿		48
役員・評議員名簿		49
資料編 2015-16 年度定期総会議題		57
サレジオ高専の教育理念と目的（info2016）		63

- 凡例
- [1] 区分(区) の記号
- * 現住所不明 / 新規現住所不明
 - x 発送停止
 - + 故人（没年）
 - ^,^^ 育英高専元職教職員（非常勤を含む）
 - サレジオ高専現職教職員（非常勤を含む）
 - = 中学会員（工高、高専進学）、本科会員（専攻科進学）
 - K 名誉会員、顧問
 - S 相談役
 - Y 執行役員
 - R 理事
 - H 評議員
- 上記理事・表委員等は同窓会とクラス、クラブ等との連絡窓口で理事会・評議員会に出席できます
- [2] 会員番号（コード）の構成 校種＋卒期＋学科＋出席番号（通番）
- 校種 AQ 旧制、C 中学 H 工高 S 高専 P 専攻科 Q 研究生 T,U 特別会員（現旧教職員）
- [3] コンピュータ処理上、表記できない漢字を JIS 漢字に替えています
- [4] 本名簿の取扱
- 本名簿に掲載する個人情報については以下に掲載する同窓会個人情報保護ポリシーに従って取り扱われますが、卒業後、会社、自宅等に同窓会の名を騙って各種の勧誘電話がかかる場合がありますので家族の方を含めて十分ご注意下さい。不審な場合は同窓会事務局までご連絡ください。
- [5] 同窓会事務局
- 194-0215 町田市小山ヶ丘 4-6-8 サレジオ高専内 育英学院同窓会事務局
Tel 042-775-3020 Fax 042-775-3021 Mail kido@salesio-sp.ac.jp
<http://www.salesio-sp.ac.jp/doso/index.html>

育英学院同窓会 同窓年報 2017
平成 29 年 3 月 1 日 制作（株）エムツークリエイト
平成 29 年 3 月 1 日 発刊 育英学院同窓会
発行者 林 紹溢（会長）
編集者 高橋 孝（事務局長） 木戸能史（担当）
発行所 育英学院同窓会
事務局 194-0215
町田市小山ヶ丘（おやまがおか）4-6-8
TEL 042-775-3020（代表）
FAX 042-775-3021（代表）
同窓会 <http://www.ikueigakuin-dosokai.org>
高専 <http://www.salesio-sp.ac.jp>

本名簿の取扱に十分ご配慮ください。特に廃棄する場合、名簿部分は焼却または裁断願います。また第三者に渡らないようお願いいたします。